



建設ラッシュのカンボジアの首都プノンペンでは、中心部には高層マンションが、周辺には戸建ての集合住宅が多いのが特徴です。

こうした大規模な開発には、建設に直接関わることを以外に、間接的に多くの需要も当然出てくるもので、中でも建設作業員たちの生活、とりわけ食事の需要というものも大きなビジネスともなっているわけです。

5人の子供がいて一番上のお姉ちゃんが大学に入った、ということで益々稼がないといけないのよ〜と笑顔で語るナレンさん。プノンペンの北部で朝食と昼食を提供

するお店を構えてきましたが、新型コロナを機に店で食事をする客が急に減ったこともあり、配達中心に切り替えようかと思っていた時に、近所に大型集合住宅街の建設が始まったことで、建設に従事する労働者向けに「お弁当」の販売を始めようということになりました。そこで必要な資材や材料を買うための資金を当社から融資いたしました。



この日のお昼の日替わり弁当メニューは「ソムロー・マチュー・クルアン」という空芯菜と豚肉がたっぷり入ったスープのセットです。ビニール袋に入れたおかずと白いプラスチック・ボックスのご飯、それに漬物で5500リエル、約180円ということでした。

朝昼晩3食をこのように各100セットで、毎日300セットくらいを売り上げているということなので、なかなかの規模の商売と言えそうです。



このように家族のために頑張って、そしてカンボジアの発展を支える人たちをまた影で支えて共に成功する、わが社もそんな存在でこれからもありたいと思っています。



2023年05月20日
磯部正広